

## 事業計画書

事業名	特定非営利活動法人 まごころサービス静岡東部センター 寄り合い処・かぬき「暖だん」
場所	沼津市 下香貫八重 地内
実施予定期間	平成 29 年 7 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日
日程	実施項目・作業項目
	<p>※ イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。</p> <p>寄り合い処・かぬき「暖だん」を開設し、8月で丸6年になります。この間色々な活動をしてきましたが、どうしても地域からの要望が多い《買物支援》に力を入れすぎた。という反省があります。</p> <p>買物に来て直ぐ帰ってしまうのではなく、買物の後、「暖だん」で少し遊んで行って欲しい。》という思いがあります。</p> <p>編み物・カレーの日・折り紙の日は定着していますが、その他の日はあまり人が来ないという悩みがあります。</p> <p>又、月の最終週の土曜日に行っていた「介護教室」は、包括支援センターが行う居場所で行うので、私たちはここで終了にし、その分を歌声喫茶・カラオケ・手芸教室に振り替えることにしました。</p> <p>歌声喫茶が、部屋が狭いので15名が定員ですが好評ならばもう1回増やす事も考えています。その為模様替えをし、部屋を整えています。</p> <p>4月からはスタッフも替わり、手作り品等は、いつでも販売できるように、棚を作り展示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実施場所 寄り合い処・かぬき「暖だん」</li> <li>● 開催日 月～金 9:00～16:00 (土・日・祝祭日)</li> <li>● 人員配置 1日3名程</li> <li>● 利用人員 1日 10名ぐらい(行事の時は 20名位)</li> </ul>
事業効果	<p>※ 事業の効果を記載してください。</p> <p>ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記してください。</p> <p>4月25日(火曜日)に行われた歌声喫茶は、応募者が多く、定員15名でしたのでお断りするようになってしまいました。1人でも多くの人に参加していただけるようにもう1日増やすことも考えております。</p> <p>水曜日のカラオケは、2回程実施しましたが、男性の参加もあり、大変うれしく思っています。</p> <p>手作り作品も棚を増設し、手にとって見て、買って下さる方も増えています。</p>

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載してください。</p> <p>連合自治会の協力を得ながら地域の方達の要望の多い買物支援や、地域の方達の交流の場としての場所提供。</p>
発展性	<p>※他の住民や地域との連携や、どのような波及効果が見込めるのか記載してください。</p> <p>収益を目的とした事業ではありませんが、居場所を提供することにより、レクリエーションや地域の方達のワークショップ等に安価で参加することが出来る。そこから始まる仲間作り等により、ご近所づきあいの連携が出来たら、災害時に役立つのではないかと。</p>
地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載してください。</p> <p>もとは、連合自治会との協力という形でスタートした事業である。地区社協等の協力を得ながら地域に根ざした活動を行いたい。</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、財政的に支援を要する理由について記載してください。</p> <p>高齢者の増加により、介護保険制度は大変厳しい時代になってきた。介護が必要になっても、直ぐに対応が難しくなっている。この現実に対応する為、地域の中で高齢者を支えるシステムが必要となってきた。</p> <p>年をとっても介護保険の世話にならず、近所の方達と支え合えるシステムの1つとして居場所を利用する。そして認知症になっても皆で楽しく暮らせる場所「居場所」が必要と考えます。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載してください。</p> <p>活動を活発に運営する為にボランティアの方達の協力が絶対に必要である。居場所を地域の方達との共有場所として提供する上でもっともっと多くのボランティアの協力が必要である。今迄6年間の実績を踏まえ居場所づくりのリーダー的な協力ができるように思う。</p>
継続性	<p>※助成事業終了後に、どのように継続的・自立的な活動に取り組んでいくのかについて記載してください。</p> <p>昨年は、居場所を作っている方達と協力出来るような横の連絡会を作ることが出来ました。3～4ヶ月に1度、社協の「ぬまっつ」に集まり情報交換をしています。いろいろな悩みを話す事によりお互いの仲間意識を強め、末永く運営出来るように話し合っている。</p>